

奥尻消防署通信

救急車適正利用

救急車は必要な時に必要な方へ

近年、全国的に救急要請は増加傾向にあります。奥尻島内では毎年約100件の救急要請があります。救急要請が増加すると、1分1秒を争う現場への到着が遅れる恐れがあります。救急車を必要とする人が必要な時に安心して利用できるよう、適時・適切な利用にご協力ください。

もしもの時どんな場合に呼べばいいの？

- ・緊急性が高いと判断したときは、迷わず救急車を要請しましょう。
- ・一方で、救急車や救急隊員の数は限られていますので、症状の軽い方が安易な要請をすることは望ましくありません。
- ・突然の重い病気やひどいケガをした人に応急処置を行い、適切な医療機関に搬送することが救急隊の役目です。

救急要請での緊急度について事案を参考にしてお伝えします。(奥尻島内での事案ではありません。)

救急要請の事例（緊急性が高かった）

1. 駅で男性が急に倒れたと通行人が救急要請
70代の男性。駅構内で男性が急に倒れるのを通行人が目撃。倒れた人のところに行くのと心肺停止状態であった。すぐさま心臓マッサージを開始し119番通報をした。
2. 胸痛を訴える本人からの相談による救急要請
胸の違和感が目が覚め、様子を見ていたが胸の痛みが出現し治まらなかったため119番通報をした。病院に搬送され急性心筋梗塞で一刻を争う病気であったことがわかった。

救急要請の事例（緊急性が低かった）

1. 新聞紙で指先を切り救急要請
30代の女性本人からの通報。新聞を読んでいた際に、新聞紙で右手中指を切ったため119番通報した。
救急隊が到着し負傷部位を確認すると右手中指に5mm程度の切り傷を認めましたが出血は止まっていた。
2. 筋肉痛のための市販薬で強くかぶれ救急要請
40代の男性。筋肉痛のため数日前に市販の痛み止めの塗り薬を塗ったところ強くかぶれた。痛みは治まったが心配のため119番通報をした。
救急隊が到着し自力歩行で救急車に乗車。痛みはなく歩行にも影響は及ぼさないといわれた。

重大な病気やけがの可能性がります！

顔

- 顔半分が動きにくい、または、しびれる
- ニツコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなる
- 突然、周りが二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

おとな



頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐらゐ急にふらつく

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2〜3分続く
- 痛む場所が移動する

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 激しい腹痛が持続する
- 血を吐く
- 便に血が混ざるまたは、真っ黒い便が出る

意識の障害

- 意識がない（返事がない）またはおかしい（もうろうとしている）
- ぐったりしている

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

事故

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

緊急性が高いと判断した時は迷わず救急車を要請してください！

参考：総務省消防庁 救急車利用マニュアル



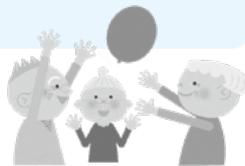
介護予防教室

お元気サロンを開催します!

みんなで集まり、楽しみながらこころもカラダも元気にしていきましょう。
※毎月の広報おくしりにて日時や内容をお知らせしていきます。



『レクリエーションで体と頭の体操』



会場	開催日	時間
保健福祉センター	3月13日(木)	13:30 ~ 15:00
青苗支所	3月27日(木)	13:30 ~ 15:00

問い合わせ先 役場くらし安心課包括支援係 2-3408

Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri

見つけた! まちのゼロカーボン



ゼロカーボンを見つめました!
今回は、奥尻地区海藻生産・活用調査検討協議会(以下「協議会」といいます)のブルーカーボンの取り組みについてご紹介します。
当コーナーのVol. 5では、ブルーカーボンの取り組みを行っている協議会メンバーである漁師さんの記事を掲載しました。協議会では、ホソメコンブによるブルーカーボンの取り組みをPRし、町の活性化、気候変動緩和の規模拡大や継続的な活動を推進するため、クレジット取得を目指し、令和4年12月よりブルーカーボンの取り組みを開始しました。
前回のインタビュー時は、ブルーカーボン・クレジットの認証に向けて進めている段階でしたが、晴れて令和7年1月10日に認証を受けました!
認証を受けたのは、令和5年10月~令和6年9月まで沈めたホソメコンブが吸収した二酸化炭素で、量にして0.5 t-CO₂です。
1口55,000円で、2月26日までジャパンブルーエコノミー技術研究組合(JBE)が申込みを受け付け、口数に応じて0.5 t-CO₂を購入者へ配分します。
なお、すでに北海道エアシステムやオクシリア일랜드フェリーほか、複数の企業が購入する方針を示されています!
協議会では、得られたクレジットを本取り組みや天然藻場再生活動を継続して行うための資金とし、今年は昨年との2倍の吸収量を目指しているとのこと。
町では、「サステナブル・アイランド奥尻」を目指して、多様な再生可能エネルギーの導入や、一部公共施設への太陽光パネルの設置、公用車のEV化、グリーンスローモビリティの導入等を目指し、取り組みを進めています。
今後も島の脱炭素化や地域活性化のため、一丸となって取り組みを進めていければと思います!

ホソメコンブの水中写真



協議会メンバー



ブルーカーボン・クレジットについて
知りたい方はこちら(JBEのホームページ)



【お問い合わせ先】ゼロカーボン推進課 ☎ 01397-2-3410

過去の記事はこちら ▶

Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri

雪解け季節の気象災害

3月は雪解けにより、なだれや土砂災害、浸水害、洪水害などのリスクが高まります。

現在、渡島檜山地方に発表中の防災気象情報を確認しましょう。



— 新採用職員紹介 —

令和7年2月1日付で採用された職員を紹介します。

- 所属 空港管理事務所管理係
- 氏名 國田 聖
- 出身地 千歳市
- 趣味・特技 ギター、釣り
- 抱負 空港管理事務所に配属されました。戦力になれるよう頑張りますのでよろしくお願いします。



1月26日(日) 町民スキー教室

教育委員会では、1月26日(日)に桜ヶ丘スキー場にておくしりチャレンジスクール「町民スキー教室」を開催しました。

一度は延期しましたが、当日は小学生から一般まで38名の参加があり、初めてスキーをする子も多くいました。スキー愛好会教育部をはじめとする講師の皆さんの丁寧な指導で、最後には上手に滑ることができました。



～ 町営自動車整備工場からのお知らせ ～

○オイル交換キャンペーンの廃止について

整備工場では、町民の自家用車メンテナンス意識の醸成・向上のため『オイル交換キャンペーン』を実施し、通常価格より4割～2割程度割引した価格でオイル交換を実施してきましたが、物価上昇などの影響を受け、オイル類の納入価格が上昇していることに加え、多くの自動車ユーザーの方が自動車メンテナンスを定期的に行っている状況にあるとともに、整備工場の運営改善を図る観点から、**令和7年4月1日から『オイル交換キャンペーン』を廃止することとなりました**のでお知らせいたします。

なお、令和7年4月1日以降のオイル交換は通常価格での対応となりますが、**整備工場でのオイル通常価格は市場価格と比較しても割安**となっていますので引き続きのご利用ご愛顧をお願いいたします。



○物品納入価格の上昇に伴う価格転嫁について

整備工場では、消耗品類や手数料等で独自に価格設定(例:オイル類、タイヤ交換関連)しているものがありますが、近年の物価高の影響を受け、採算性が低下しており、整備工場の健全な運営を目指す観点から、今後は市場価格の情勢を踏まえ適宜価格改定を実施することとなりましたのでお知らせいたします。(令和7年4月1日より価格改定(値上げ)を予定しています。)

また、お取り寄せ部品等の一部は仕入れ価格を基礎単価として価格を設定しているため、従来通りの取扱いとなっています。

なお、通常時の消耗品等の価格設定は、年度初めに単価表を設定し運用していますが今後は物価高等の影響を受け適宜判断(4半期毎など)することとなります。

ご不明な点等ございましたら整備工場までお問い合わせ下さい。



【連絡先】

奥尻町営自動車整備工場(整備交通課 自動車整備係)
電話: 01397-2-2352 Fax: 01397-2-2862

自動車の点検・整備はドライバーの責務です。
安心・安全なカーライフのため適切に定期点検を実施しましょう

「おくしり多文化共生セミナー」を開催しました

地域政策課では、1月25日にJICA北海道とJICAブータン事務所の協力のもとブータンとの国際交流を通じて、多文化共生について考えるセミナーを開催しました。始めに、JICA北海道函館デスク国際協力推進員である戸澤里美氏が道南地域における外国人住民の現状や多文化共生の重要性について講演しました。次に、ブータンに派遣されているJICA海外協力隊の村井瞳氏が現地での暮らしや、日常生活で気づいた文化や常識の違いについてお話ししました。それから、外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」について元日本語教師である当課職員から説明をし、ブータンの方々とオンラインでの日本語による国際交流を行いました。日本に行くために日本語を勉強している方やアニメで日本語を勉強した方など日本語のレベルは様々でしたが、それぞれのグループでは話が盛り上がっていました。

参加者からは「コミュニケーションがとれて嬉しかった」「アニメの話題は世界共通と感じた」「このような機会をまた作ってほしい」などの感想が寄せられました。



第46回 子ども芸術展

奥尻町教育委員会主催の「第46回子ども芸術展（書道・美術）」が1月25日から2月2日までの間、海洋研修センターホールにおいて開催され、文字芸術の書道と表現豊かな美術作品が展示されました。
入賞された児童・生徒は次のとおりです。

個人情報保護のためホームページに氏名等は掲載しません。